

インターネット上での 個人特定の危険性について

インターネット上では、SNSなどへの書き込みから個人を特定されることがあります。

個人を特定される可能性があるのは、SNSのプロフィール欄などに詳細な個人情報をのせていた場合だけではなく、インターネット上の断片的な情報を組み合わせることで、個人を特定されることもあります。「個人情報をのせないように気をつけているから大丈夫」と子どもたちが思っている、絶対に安心できるとは限らないのです。

「これなら大丈夫」と思っているも・・・



ばらばらに投稿されて一見関係ないようですが、情報を組み合わせると

- 店の写真から、住んでいる地域がわかった！
- 友だちの投稿から名前と顔写真が判明！
- 学校行事(OO祭)から、学校がわかった！



子さんは、
□□町に住んで、
△△学校に通学中

このように、詳細な個人情報をのせていなくても、インターネット上に掲載されている断片的な情報を組み合わせることで、個人が特定されるケースもあります。

自身で確認する習慣を

個人を特定されると、なりすまじやつきまといの被害にあったり、万が一不適切な投稿をしてしまった際に、個人情報を拡散されたりする可能性があります。インターネットに投稿する際は、自分や友だちの個人情報につながるものが含まれていないか、必ず確認する習慣をつけるよう、子どもたちに指導していくことが大切です。